

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年3月22日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 兼愛会	特別養護老人ホーム しょうじゅ美浜	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
②移乗介助	(株) いうら リフト付シャワーキャリー/LS-500 専用レール/LTB-100	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年3月1日	②4台	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ・2ユニットに1台のリフト浴を配置。（特養8ユニット＝リフト浴4台） 2ユニットでリフト浴対象者約15名×週2回＝30回使用している。1日平均6～7名使用（日曜は稼働なし）朝は10時頃より入浴を開始し、昼食を挟み16時頃までの時間で使用することが多い。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b> ・リフト浴導入前は座位保持ができない入居者様は機械浴（寝台ミスト浴）で入浴していた。館内で1台の設備のため、短時間で使用することが多く、入居者様は個浴に浸かることが出来ておらず、職員も介助をしていてニーズに答えられていないと感じることが度々あった。 ・令和4年の介護報酬改定で自立支援の重要性を更に感じ、3大介護である入浴に視点を当てることとなった。スタッフ・入居者様双方の身体的負担が軽減される介護ロボット指定のリフト浴を使用して個浴での支援をできることにスタッフのやりがいを見出すことに繋がっている。 ・(株)いうら製のリフト浴は、簡単な工事で面積がコンパクトな個浴に設置することができる。取り扱いもバッテリー式で電源工事や油圧式ポンプ等もないため、シンプルでスタッフも覚えやすく、事故の可能性の低いタイプであると感じた。 ・可動性のシャワーキャリーのため脱衣所での取り回しもでき、入居者様を移乗介助する回数を減らすことにつながるため、スタッフの腰痛の軽減、移乗時の怪我の防止にもつながる。		

**【介護ロボットの不都合な点】**

- ・本体の清掃が終わった後にバッテリーを取り外し充電するという順を守らない場合、本体のバッテリー部分に浸水し故障の原因となることが考えられる。  
手順のマニュアル化、周知が必要である。
- ・チェア-の車輪が小さいため重量の重い対象者の対応には、力とコツが必要であるため、スタッフも修練していく必要がある。

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年4月 4日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 健仁会	特別養護老人ホーム 千の風・清澄	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援ベッドシステム	① エスパシアシリーズ KA-N1411A ② ナースコール中継ユニット NU-1850	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年3月16日	4台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>①認知症入居者の動き出しに、現場職員がいち早く居室に駆け付けて転落・転倒の事故防止を図っています。</p> <p>② 介護職員の見守り時間の削減をしています。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>①必要以上に行っていた訪問回数が減りました。特に夜間帯の訪問回数が減り、認知症の入居者が静かな環境で安眠でき、夜間の問題行動の対応時間の削減ができました。また、転倒・転落を予防することで受診援助の時間、創部の応急処置の時間短縮に繋がっています。</p> <p>②居室（個室）の認知症入居者の問題行動に対して、定期巡回とは別に夜間10回程、見守り・声掛けを行っていたが、見守り支援ベッドシステム導入後は巡回・見守りの時間が短縮しています。</p> <p>導入前：夜間、動線を含めた声掛け・見守りの訪問に2分/1回×10回訪問＝20分          導入後：夜間センサー感知が5回程で10分となり、入居者1名10分の見守り時間の短縮になっています。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症入居者によるセンサー基盤の破壊や配線断線の可能性がある。それによる修理費用や修理の時間の増大が想定される。より強度を高く工夫してほしい。</li> </ul>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和4年3月30日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 寿陽会	特別養護老人ホーム 空 【従来型】	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	エスパシアシリーズ KA-N1511R ナースコール中継ユニット NU-18AO	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年3月18日	2台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徘徊や歩行能力が低下している利用者の居室に設置し毎日使用している。</li> </ul>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、 介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッド上で利用者が動くとナースコールが鳴るため、無駄なラウンドがなくなり、介護職員の見守り業務の負担が軽減された。また、利用者の転倒等の事故リスク軽減ができた。</li> </ul>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能などは問題ない。カメラなどで利用者の動作が目視出来ればさらに無駄なラウンドをなくすることができる。</li> </ul>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年3月30日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 寿陽会	特別養護老人ホーム 空 【ユニット】	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	Wells リフトキャリー	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年3月10日	1台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・利用者4名、週8回稼動している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ※介護時間の短縮については、 介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。 ・浴槽への入退浴が安全で円滑になった。 ・特に退浴の際は利用者の脇の下に職員が手をいれて引上げていたため、双方の腕や腰の痛みの要因を排除でき、楽になったと高評価である。 ・利用者と職員が対面で入退浴できるため利用者が怖がらなくなった。 ・キャリーが電動で上下するため、職員はかがむ介助が減った。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 ・浴槽内で座位が固定されてしまうため、のけぞって湯船につかれない。 ・ももとの浴槽の深さは変えられないため、利用者の座高によっては胸から上が湯船に浸かれず寒いと言われることがある。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和4年 4月 1日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人讃助の会	介護老人福祉施設 ハピネス稲毛	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	リフト付きシャワーキャリー WLC-100 専用架台	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 2月 28日	各 2台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>ユニット内に設置している個浴は一般浴槽で、身体移乗介助による介護スタッフの身体的負担が大きく、また転倒事故の恐れもある方の利用者に対して本機器を試用している。以前は2名の介護スタッフで行っていた入浴介助が1名で対応できる。週6日稼働で入浴を希望される利用者全員に使用してもらっている。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>脱衣後、利用者がシャワーキャリーに移乗して入浴、洗体、入浴までの工程が1名でできる。脱衣室へもシャワーキャリーで移動でき、ふき取り、着衣までスムーズにできる。浴室での対応が2名から1名でできること、また入浴希望の利用者に柔軟に対応できることは労働生産性を上げ顧客満足の上昇に一役かっていると思われま。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>利用者を乗せたシャワーキャリーを専用架台に載せて浴槽を横移動するときスムーズに行かないときがある。専用架台上で横移動は人力で行う構造となっている。横移動もできればモーターによる機力のできるようになれば、より一層移乗介助の負担が減るものと考えられる。メーカーに改善要望を出したい。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和 4 年 4 月 6 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 親愛会	特別養護老人ホーム 親愛の丘 市川	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	【テクノジャパン】超音波・赤外線センサー (型式: HUR-R)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4 年 2 月 10 日	5 台	
<b>【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】</b> ベッド下設置での使用パターンと、居室入口に設置での使用パターンでの使用をしております。ポータブルトイレに座る際、ベッドから立ち上がった際、居室から廊下に出る際に職員がすばやく介入できるよう、常時スイッチオンの状態で使用しています。		
<b>【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転倒防止のため、導入前は 15 分に 1 回程度のこまめな訪室と適宜トイレへのご案内等で、夜間 10 時間休まれている間の約 4 時間は介入に要していたが、現在は適切なタイミングで介入することができ、約 1 時間程度の介入となっている。</li> <li>・入居者については機械への違和感もなく、日常生活上問題はありません。</li> <li>・介護職員からは介入の時間が減少したことから、作業の段取りが組みやすくなり、効率的になったとの意見が多く聞かれます。</li> </ul> <p style="text-align: right;">※別紙に写真付きで添付</p>		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b> 今回導入の赤外線センサーは、センサーの照射範囲や設置位置の調整がしやすく、特に大きな問題はありません。強いて不都合な点を挙げるのであれば、機器本体のボタン類が小さく、確認がしづらい点です。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和4年2月22日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 翠燿会	小規模多機能型居宅介護 グリーンヒル八千代台	小規模多機能 型居宅介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
コミュニケーション	LOVOT Solo	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年2月4日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>日々の朝の申し送り(9:30)より始動開始、職員及び利用者さんが声掛けや触れたりする共に自動走行で施設内を自走して多くの方がたとふれあい自分で充電を行なったのち再稼働して夕食後帰りの方々と触れ合ったのちに 19:00 に自動充電及びネット更新等となる。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>LOVOT のセンサーにより日々の声掛けやふれあいでの状況など観測センサーにて操作アプリで可能であり一定ペースでの確認をおこなっている。職員も声掛けするなど行なっており癒しの存在となっている。利用者さんも来場時から声掛けや活動時話しかけやふれあいを行なっている。特に認知症状により不安などの症状がある方と触れ合うことで軽減化されることで一定時間職員も他の業務等を進めることができている。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>床面走行のために視線に入りにくいので車椅子等の移動中など確認が必要となっている。また、手で撫でるなどのふれあいも多く複数で触ったりもするので衛生等の管理が必要となっている。</p>		



(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和4年3月31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人聖隷福祉事業団	松戸愛光園デイサービス	老人デイサービス事業 (通所介護等)
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	リフト付きシャワーキャリー LS-310	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年2月1日	1台	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> 34人/日定員デイサービスでの利用者入浴時に使用。入浴希望者は利用者の9割程おり、下肢筋力低下等で浴槽の出入りの跨ぎや浴槽内での立ち座りが困難な方がいる。1日平均で5～7人の利用者が今回導入したリフト付きシャワーキャリーを使用し入浴を行っている。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b> 導入前は、スライドボードや職員が抱えるなどで対応していたが、不安定さもあり利用者も介護職員も不安が大きかった。また、介護職員の腰痛等の主な要因となっていた。今回リフト付きシャワーキャリーを導入したことで、浴槽への入浴・出浴時の安定性が増し、利用者・介護職員双方の不安もなく安心して入浴ができるようになった。脱衣所から浴室内の移動も、シャワーキャリーを使用することで安全にスムーズに行う事が出来、そのまま浴槽へスライドできるため移乗の回数も減り、リスク軽減と時間短縮へもつながっている。リフト装置により、利用者個々の体調等に合わせて半身浴にも対応できるようになった。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b> ① 一般個浴槽へ設置しているが、リフト不要な利用者が浴槽使用の際に、シャワーキャリー用スライドレールが若干邪魔になることがある。 ② LS-310は座面がレールに沿って浴槽へスライドする機構だが、脚部分は介護職員が持ち上げて浴槽をまたがせる必要がある。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 3月 31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人清和園	ゆいまーる習志野介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り機器	眠りスキャン	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 3月 17日	2台	
<p><b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b></p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>看取り対応の利用者に静養室にて24時間使用している。心拍・呼吸数・定点観測情報の把握をしている。①3/27深夜看取り対応の利用者の呼吸数・脈拍数が低下し、機器のアラームが鳴動、状態の変化をいち早く職員が把握し、よりこまめな経過観察をし、明け方に看取った事例 ②3/30心不全の既往がある利用者が退院された際に使用し、体調のいち早い確認ができるようにしている。</p>		
<p><b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b></p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、</p> <p>介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</p> <p>介護職員が多くの介護業務を行ないながらこまめな見守りは負担が大きく、状態変化の可能性が高い利用者へ機器を使用することで、介護職員の負担軽減につながっている。また活動時間（睡眠状態や覚醒状況）を把握することで、本人の睡眠リズムに合った食事提供時間の調整をすることで、食事摂取量の向上や、コミュニケーション時間の増大などにつなげることができつつある。（導入後間もない為、顕著な実績までは至っていない） 今後、研修にてより効果的な使用改善に努める予定。</p>		
<p><b>【介護ロボットの不都合な点】</b></p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>機器の性能として、拘縮や円背の方の心拍や呼吸数の感知をすらいいため、機器に合わせた体位やポジショニングクッションの使用・調整が必要な部分もあるため若干ではあるものの、使用者を選ぶ面がある。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 3月 31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人清和園	セイワ習志野介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
① 見守り	① センサーマット 眠り SCAN NN1320	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 3月 25日	8台	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・体動や離床によりアラームが鳴ったタイミングで訪室。そのタイミングで入所者の訴えを確認し対応できる。また、転倒転落事故の予防にもつながる。終日使用。 ・看取り対応の入所者の心拍・呼吸の有無を終日確認。変化に合わせて状態確認を行う。 ・精神科 Dr 処方された内服薬調整の為、日中夜間の睡眠時間や離床時間の確認を行い、Dr へ睡眠状態の報告をする。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・導入前はおよその時間での睡眠確認であり、定時随時での巡回や状態確認であった。介護ロボットの導入により入所者個々の入眠時間・睡眠時間・覚醒時間の把握ができ、入所者の必要な時に職員が対応できる為、職員の介護時間短縮や精神的負担の軽減につながっている。事故予防にも役立っている。 ・睡眠時間の把握により、入所者の生活リズム改善方法を検討しやすい。改善実施内容に対するモニタリングが機器により可視化できる事で職員の達成感にもつながる。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b> ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 ・データ確認の為の表示画面が小さく見づらい為、画面が大きく設定できるとなお良い。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和4年 3月 15日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 太陽会	特別養護老人ホーム めぐみの里	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援	見守りシステム Neos+Care	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年3月1日	3台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>ご利用者の居室での様子を見守るため、常時設置している。 個室1床、認知症フロアの居室2床に設置し稼働している。 日中は、居室で過ごされる機会は少ないが、夜間の臥床時の様子を遠位より見守りし、センサー応答時は、カメラ画像を確認した上で訪室している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>設置から2週間経過しているが、ロボット設置床での転倒の発生はゼロ。 設置前は、居室から独歩で歩いて出てきてしまってから発見することが多く、転倒リスクが高かったが、ベッドから起き上がった時点で通知が来るため、歩き出す前に訪室でき、転倒が予防できている。 フットセンサーを使用していた際は、訪室しても既に臥床されているなどで、無駄な訪室が多かった（一晩に5回程度）が、ロボット設置後は様子が画像で確認できるため訪室回数は平均して半分以下に減少している。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>赤外線カメラのため、ご利用者の様子はシルエット画像になっている。日中は室内が明るいため、ご利用者の動きがある程度見て分かるが、夜間は暗い中のため、シルエット映像が分かりにくい。（ベッド上で何をしているのかが分からない）</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

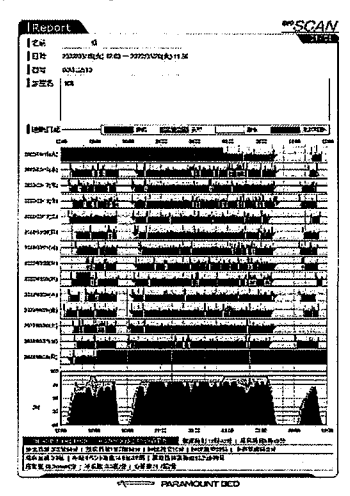
令和 4年 4月 4日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 千葉県厚生事業団	特別養護老人ホーム ひかり隣保館	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①見守り ②見守り ③移乗介護 ④見守り機器の導入に伴う通信環境整備	①眠りスキャン ②見守りケアシステム ③SASUKE ④wi-fi 工事	
介護ロボット導入時期	導入台数	
① 令和4年2月4日 ② 令和4年2月18日 ③ 令和4年3月7日 ④ 令和4年2月15日~17日	① 2台 ② 5台 ③ 1台 ④ 一式	

【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】

※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

① 眠りスキャン  
24時間、利用者の呼吸や睡眠状態などを確認している  
(右図、測定データ)。



② 見守りケアシステム  
多動な利用者に対しては数分間隔で見守り機能が作動している。

(利用者の日誌を一部抜粋)

19:07、19:23、長座位になりセンサー反応

21:42 センサー反応あり訪室すると布団を直している様子あり。また左肋骨辺りをさすり痛みの訴えあり、確認するも外傷(-)

22:09 センサー反応あり訪室すると長座位になり「丁度いいところに来た。キュウリもぎに行こう」と話され時間を伝えると「夜中じゃ行かないな」と笑って話される。

23:00 過ぎより数分置きにセンサー反応あり。

23:30 オムツ交換の為訪室時お腹の上に多量にティッシュペーパーを置いていた為、どうしたのか聞くと「今整理しているところ」と話され、オムツ交換し時間を

伝え入眠促してその後は入眠される。

3:15 大きい声で呼ぶ声がした為訪室すると「起こして」と話される。時間を伝え臥床促す。

6:45 職員より声掛け行い起床。

③ SASUKE

起床時などは職員が少ない時間帯で移乗介助に使用している。

④ wi-fi 工事

見守り機器やタブレット端末の通信のため常時使用している。

【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】

※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。

※介護時間の短縮については、

介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。

① 眠りスキャン

職員は利用者の睡眠状況などを確認し、眠りが浅い時間帯は巡回の回数を増やすなどして対応することができている。

② 見守りケアシステム

見守りケアシステムを設置した利用者に対して、設置前は月に数回起きていた転落事故が、設置してからはゼロになった。

③ SASUKE

抱え上げがなくなったので職員の腰痛予防ができている。

2人で移乗介助を行っていた利用者を1人で移乗できるようになった。

⑤ wi-fi 工事

見守り機器やタブレット端末の入力がスムーズに行えている。

【介護ロボットの不都合な点】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

① 眠りスキャン

今のところ問題なし。

② 見守りケアシステム

ベッド上の変化には気が付くが、ベッド周辺の状況がわからないので、利用者が居室に戻ってベッドに移乗しようとしている様子はわからない。

④ SASUKE

居室が狭いので移動が困難。

⑥ wi-fi 工事

なし ネットワーク環境もよくなり快適に使用できています。

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和 4 年 3 月 7 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 長寿の里	特別養護老人ホーム ふなばし翔裕園	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
移乗介護ロボット	移乗サポートロボット Hug T1-02	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4 年 3 月 3 日	4 台	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・各ユニット内において、お客様へのトイレ誘導や入浴介助の場面等で使用。 トイレにおいては、トイレで排泄したい方に対し、人力の2名でしか対応が出来なかったが、ロボットを使用する事で、一人での対応が出来る事と時間に関わらず、お客様の望む時間帯でのサービスの提供が出来る。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ※介護時間の短縮については、 <u>介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</u> ・ロボット導入前は、155時間要していたが、ロボット導入後は、77.5時間に減少。理由として、今まで2人で実施していた時間が1人で対応可能になった事が一番の要因。ロボット導入以前からデモ機で触れていた事もあり、職員はスムーズに介護ロボットの導入に移行する事が出来た。但し、職員によってはロボット使用にあたりまだ慣れない状況がありますが、それ以上に腰痛に対しての負担軽減が図られている様子が見られると共に、職員からは、ロボット導入前と比較すると、要津がかなり楽になったとの声が多々聞かれている。また、ケアの見直し等も図れる事ができ、お客様に対するサービスの質の向上を図る上でも、職員の意識改革が図れてきている。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b> ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・今回導入した Hug については、あまり不都合な部分はないですが、あえて現場目線		

で見ると、ブレーキが集約していると更に使いやすいと感じた。また、注意喚起の部分で音声認識で喚起する等の機能があると、職員はもっと不安なくお客様に対して使用していく事が出来るのではないかと感じた。



(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年3月27日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 長寿の里	特別養護老人ホーム いちかわ翔裕園	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り介護ロボット aams/アアムス ※メインセンサー・加圧センサー・マスターサーバ	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年3月22日	10台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・納期が予定より遅れたこともあり、使用開始には至っていない。また、使用方法や予想される効果などを使用経験のある職員やインターネットを使用して説明かつ周知を行なったが、コロナの影響により業者からの直接の説明会や研修会を実施できていない。</li> </ul>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、 介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用開始前のため直接的な効果は見られていないが、コロナ禍ということもあり、少しでも業務の効率化（夜間の巡視回数やナースコールの対応など）を図れるのではないかと期待の声や、経験が浅い職員が多いこともあり最新の福祉機器を使用できるということで、大変な中でもモチベーションが上がっている。</li> </ul>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は未だない。</li> </ul>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 4月 8日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 友和会	介護老人福祉施設ピアポート千壽苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	安心ひつじα	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 3月 28日	3台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>3台納入したが、1台は看取り期の利用者様に使用し、居室での状態（呼吸、心拍など）共同生活室での主パソコンにてモニタリングし、夜勤時など2時間おきにモニター確認後居室のご本人の状態確認し、業務にあたっている。また、もう1台は持病により身体の自由がきかずナースコールが押せず、お話ができない利用者様に使用。居室での睡眠、覚醒などモニターで確認後、居室での介護にあたっている。また、もう一台は認知症の利用者様（徘徊あり）に使用。睡眠、覚醒、起き上がりなどモニタリングし、離床等あった時には、居室に出向きご本人も状態を確認し、介護にあたっている。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、  <u>介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</u>                  介護時間の短縮については、直接軽減効果はないが、看取り期の利用者の状態をモニターで確認でき、実際に居室に行って確認することで介護従事者の安心など精神的負担につながっている。また認知症の利用者については立ち上がり等にいち早く気づき転倒の危険回避や徘徊での居室での状態確認ができることで、介護従事者の何度も確認しながら他の業務を行っていたため、業務効率化また安心感につながっている。業務効率化、精神的負担の軽減が介護従事者の満足に繋がっている。（継続中）</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。                  特になし（今後出てくる可能性あり）</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 4月 8日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 友和会	特別養護老人ホーム千壽苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	安心ひつじα	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 3月 29日	1台	
<p><b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b></p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>看取り期の利用者様へ日々使用中。従来型の介護ステーションに安心ひつじパソコンモニターを設置。利用者の呼吸状態、心拍状態などモニターで確認しながら、居室での状態も確認し、介護記録に記入している。看取り期の身体の状態の把握を目視で確認することもしながら、モニターを通してながら介護従事者の中で1日1日の状態を正確に記録できている。</p>		
<p><b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b></p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p><u>※介護時間の短縮については、</u>  <u>介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</u></p> <p>介護時間の短縮に関しては現状特になし。介護従事者からの意見として、看取り期は身体の状態が把握しづらく、安心ひつじのモニターを確認しながら、居室での目視、介護が出来る点で精神的不安軽減に繋がっている。また、従事者によって利用者の身体の状態の把握は認識に差が出てしまうが、目視とモニターで介護に従事するため介護記録に共通した認識で記入することが出来るのではないかと感じた。</p>		
<p><b>【介護ロボットの不都合な点】</b></p> <p>現状特になし。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 4月 8日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人苗場福祉会	特別養護老人ホームさくら館	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	Wells リフトキャリー	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 3月 14日	5台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>入浴介助で毎日使用している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、</p> <p><u>介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</u></p> <p>機械浴で入浴されていた入所者がユニットの個浴で入浴する事で、移動にかかっていた時間の負担を軽減することができた。また、職員がユニットを長時間離れることがないため、ユニットの見守りができ、入浴していない入所者の安全確保にもつながっている。</p> <p>介護ロボット導入前に要していた時間数 500分 → 導入後に要している時間数 350分</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 3月 23日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 翡翠会	ほほえみの里かきつばな	認知症対応型共同生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	ウェルスリフトキャリーWLC-100	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 3月 4日	1台	
<p><b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b></p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>3/4 導入。説明会を行った。3/5 に当日休みだった職員に説明会を実施。翌日よりスタッフ間で練習を行う。2~3 回スタッフ間で練習後実際に入浴介助を行った。今までシャワー浴でしかできなかった方が、リフトで入浴が出来る事でご本人様喜んでおり、ご家族にも久しぶりに浴槽に入れたことの報告が出来た。車椅子の方が現在7名おり、1日2名と決め、朝礼の際に1Fと2Fで入浴する方を相談し、入浴して頂いている。日曜日以外の毎日使用しており、日曜日でも職員の数が多い日に関してはリフトを使用し、入浴を行っている。</p>		
<p><b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b></p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、</p> <p>介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</p> <p>入浴時間に関してはシャワー浴からリフト浴になった為、入浴に掛かる時間は増えたがその分浴槽で暖まる時間が増えたので、血流状態が改善し、浮腫みの軽減などに期待が持てる為、満足感は高くなった。リフトの為、介助者の腰への負担は少なくなり、安全に入浴が行えることが出来ている。導入前は、入浴介助が毎回大変と話があったが、導入後は進んで活用しようとする職員が増えている。</p>		
<p><b>【介護ロボットの不都合な点】</b></p> <p>※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>リフトのレールを設置する際、蓋を開けて、浴槽の縁にセットするが、重い為、力が必要。女性スタッフ特に力がない方は設置に時間が掛かってしまっている。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 3月 18日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 ひまわりの里	染井野ヒルズ ひまわりの里	特定施設 (介護付き有料老人ホーム)
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	Wells リフトキャリー	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 3月 10日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週2回の入浴サービスにて、一般浴槽では湯船からの立ち上がりに不安を訴える方が多くなったため導入。</li> <li>・25名入居中3分の2の方がキャリーを使用。</li> </ul>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様からの入浴中の不安な声が減った。</li> <li>・介護抵抗のある方や身体の大きな方の異常が1階になることにより、介護者の精神的、体力的負担が減った。</li> </ul>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴スペースが狭いため、スタッフがチェアにぶつかるケースがある。</li> <li>・人を乗せた時のチェアが重く、うまく舵取りできない場合があり、力の弱い女性は操作しづらい場合がある。</li> </ul>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和4年4月7日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 福祉楽団	特別養護老人ホーム 杜の家くりもと	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
① 見守り ② 見守り機器の導入に伴う通信環境整備	① 見守り支援システム 眠りSCAN ② 無線アクセスポイント増設、天井点検口設置	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年3月15日	① 1台 ② 一式	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
▼ 使用する業務 ・夜間帯、特定の利用者の睡眠状況を把握する		
▼ 使用頻度等 ・日数：毎日 ・時間：20時～翌7時		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】		
※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。		
※介護時間の短縮については、 介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。		
○ 眠りSCANによる利用者の覚醒状態が把握でき、離床したとき、すぐ駆けつけることが出来るようになり、介護職員の心理的な不安が少なくなった。		
○ 導入して間もないが、夜間帯の利用者の睡眠状況を把握しやすくなった。睡眠薬等を内服している利用者は、内服薬及び内服時間の見直しが期待できる。		
【介護ロボットの不都合な点】		
※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。		
○ 本製品は、睡眠を観察する機器であるため、転倒防止のために使用することは向いていない。		